

こくろう秋田

貧困、格差解消を訴え行進 臨時全国大会 報告集会を開く

第81回を迎えたメーデーが、4月29日は八橋陸上競技場（連合主催）で、5月1日はアゴラ広場（県労連系主催）で開かれ、それぞれに参加した。

連合メーデーでチラシ配布

4月29日の連合メーデーには

7名の参加者で激しい風雨の中、国労本部が作成したチラシ四百枚を配った。例年行っているショー

県労連系メーデーで JR不採用問題を報告

から帰途についた。

5月1日の第81回秋田県中央

メーデーはアゴラ広場で開催され、主催者発表で43団体約七百名が参加し、強い風が吹き付け寒さを感じる中で国労からも退職者を含め40名を超える組合員が参加した。



5月1日メーデーでアゴラ広場に集まった組合員

準備していた方々は散々の様子であった。スタンドには「国労秋田地本」の旗がひるがえり「やっばり国労だ」という声が聞こえてきた。途中小降りになったものの、11時からの集会には傘をさしながら参加したが来賓あいさつも手短かに終わりメーデー宣言を採択。パレード（デモ行進）も悪天候のため中止となり、皆さんずぶ濡れになりな

国鉄労働組合
秋田地方本部
(秋田市中通
7-2-21)
018-832-3775
発行責任者
瀬下 一司
編集責任者
佐藤 浩一



メーデー祝賀会の前に開いた臨時全国大会の報告集会

告と今後の取り組みへの引き続きの協力を訴えた。また、他の団体からはNPT問題をはじめとする核兵器の廃絶と平和への取り組みの訴えや福祉保育労からは今後予想される「保育難民」についての演劇が披露された。

平和憲法まもる秋田県集会開催

を終了。アゴラ広場から、広小路、中央通りをシュプレヒコールをしながら市民にアピールし、デモ行進をした。

なお、この日終了後、場所を国労会館に移して「秋田地区臨

憲法記念日の3日、秋田市文

化会館を会場に第32回平和憲法をまもる秋田県民集会が開催された。参加者は約五百名（国労からは組合員・家族・OBなど約20名が参加）で、開会に先立ち小・中学校の教員で結成されたフオークバンド「あきた雑花塾」

がオリジナル曲を含む数曲を披露。続いて主催者を代表し、県労連・佐々木草議長があいさつにたち、その冒頭、昨年の集会に講師として参加され今年亡くなった井上ひさしさんの御冥福をお祈りし、参加者全員で黙とうを行った。

今年の記念講演は反貧困ネットワークのメンバーで「年越し派遣村」村長を務めた湯浅誠氏らとともに貧困撲滅に奮闘している首都圏青年ユニオン書記長の河添誠氏から「大量失業の時代に憲法を考える」のテーマで、その講演内容は◆労働法の規制緩和によって大量に派遣等の非

正規雇用が増えたのは大企業の実態。◆首都圏ユニオンの闘いと労働組合の重要性。◆失業給付、最低賃金制等セーフティネット充実の必要性。◆ナショナルセンターや系統を超えて作られた反貧困ネットワークの広がりと可能性―などであった。

特に、派遣切りや労働者の生活実態などは相談や交渉に直接関わってきただけに迫力ある内容だった。

集会の最後は憲法改悪反対秋田県センター代表の虹川弁護士が「毎年開催されるこの集会で平和憲法についての思いを新たにして一年間がんばってきた。今日の集会で決意を新たにしたい」と閉会のあいさつを行い

終了した。

終了した。

終了した。

終了した。

終了した。

終了した。